

# **bizhub C3110**

ユーザーズガイド 拡張機能編



---



# もくじ

1	拡張機能について	
2	ライセンスキットを登録する	
2.1	ライセンスの登録について .....	2-2
2.2	ライセンスを登録する .....	2-3
3	ThinPrint システムと連携する	
3.1	ThinPrint 機能について .....	3-2
3.2	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	3-2
4	索引	



## 拡張機能について

# 1 拡張機能について

本機で拡張機能をお使いいただくためには、拡張機能ごとに、オプションのライセンスキットを導入する必要があります。

利用可能な拡張機能と、購入が必要なライセンスキットとの対応は、次の表をごらんください。

ライセンスキット	機能	概要
i-Option LK-106	バーコードフォント	ERP (Enterprise Resource Planning) システムなどから本機に送られるデータからバーコードを生成し、本機から印刷できます。プリンタードライバを介さずに、直接印刷できます。
i-Option LK-107	ユニコードフォント	ERP (Enterprise Resource Planning) システムなどから本機に送られる多言語の文字情報 (ユニコード) を印刷できます。プリンタードライバを介さずに、直接印刷できます。
i-Option LK-108	OCR フォント	本機で OCR フォントを利用できます。OCR フォントは、OCR (Optical Character Recognition、光学文字認識) を利用するときに、正確に文字を認識できるように標準化されたフォントです。
i-Option LK-111	ThinPrint 機能	本機で ThinPrint 機能が使えるように設定します。ThinPrint は、ThinPrint Engine (.print Engine) から ThinPrint Client (.print Client) へ印刷ジョブを送信するときに、データの圧縮や帯域制御を行うことで、スピーディーな印刷を実現する機能です。本機は、ThinPrint Client (.print Client) として動作します。詳しくは、3-2 ページをごらんください。

## 参考

i-Option LK-106、i-Option LK-107、i-Option LK-108 は、オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

---

# 2

ライセンスキットを登録する

## 2 ライセンスキットを登録する

### 2.1 ライセンスの登録について

本機で拡張機能をお使いいただくには、それぞれの機能に対応するライセンスキットを購入して、ライセンス管理サーバー（LMS、License Management Server）にライセンスの情報を登録する必要があります。また、LMS から発行されたライセンスコードを本機に登録して、本機で拡張機能を有効にする必要があります。

ライセンス登録の流れは、以下のとおりです。

---

#### ライセンスキットを購入する

- ライセンスキットに入っているトークン証書には、LMS でのライセンス登録に必要なトークン番号や、LMS の Web サイトのアドレスが記載されています。  
→ トークン番号：拡張機能ライセンス購入のご契約を識別するためのコードです。



---

#### 本機を操作して、シリアル番号とリクエストコードを確認する

- シリアル番号とリクエストコードは、LMS でライセンス登録をするときに必要です。  
→ シリアル番号：本機のシリアル番号です。  
→ リクエストコード：本機を特定するためのコードです。



---

#### コンピューターから LMS の Web サイトにアクセスして、機能コードとライセンスコードを取得する

- Web サイトのアドレスは、ライセンスキットに入っているトークン証書に記載されています。
- 機能コードとライセンスコードを取得するには、Web サイトでシリアル番号、リクエストコード、トークン番号の入力が必要です。
- 機能コードとライセンスコードは、本機で拡張機能を有効にするために必要です。  
→ 機能コード：それぞれの拡張機能を識別するためのコードです。  
→ ライセンスコード：それぞれの拡張機能を有効にするためのコードです。



---

#### 本機で機能コードとライセンスコードを入力し、拡張機能を有効にする



---

完了

---

## 2.2 ライセンスを登録する

- 1 ライセンスキットを購入します。  
→ ライセンスキットに入っているトークン証書が、LMS でのライセンス登録に必要になります。
- 2 本機の操作パネルで [設定メニュー] - [管理者設定] - [ライセンス管理] - [リクエストコード発行] を選びます。
- 3 シリアル番号とリクエストコードをメモします。  
→ [印刷] を選ぶと、シリアル番号とリクエストコードを印刷できます。
- 4 インターネットに接続できるコンピューターから、Web ブラウザーを開いて、ライセンス管理サーバー (LMS) の Web サイトに接続します。  
→ ライセンス管理サーバーの Web サイトのアドレスは、ライセンスキットに入っているトークン証書に記載されています。
- 5 シリアル番号とリクエストコードを入力し、次へ進みます。

- 6 トークン番号を入力して、購入する商品名を選び、次へ進みます。  
→ トークン番号は、ライセンスキットに入っているトークン証書に記載されています。

## 7 登録した内容を確認して、ライセンスコードを発行します。

機能コードと、ライセンスコードが発行されます。メモなどに控えておくか、Web ページを印刷してください。

→ [USB 出力] は使用しないでください。本機は USB メモリーを使用した拡張機能の有効化には対応していません。

8 本機の操作パネルで [設定メニュー] - [管理者設定] - [ライセンス管理] - [有効化] を選びます。

9 LMS の Web サイトで発行された機能コードとライセンスコードを登録します。

→ Web Connection で機能コードとライセンスコードを登録することもできます。管理者モードの [システム] - [ライセンス管理設定] - [機能有効化] で、機能コードとライセンスコードを登録します。

10 [実行] を選びます。



---

# 3

ThinPrint システムと連携する

## 3 ThinPrint システムと連携する

### 3.1 ThinPrint 機能について

ThinPrint は、ThinPrint Engine (.print Engine) から、ThinPrint Client (.print Client) へ印刷ジョブを送信するときに、データの圧縮や帯域制御を行うことで、スピーディーな印刷を実現する機能です。

本機は、ThinPrint Client (.print Client) として動作します。



#### 参考

ThinPrint 機能を使うには、オプションの i-Option LK-111 が必要です。

### 3.2 お使いになるために必要な作業（管理者向け）

Web Connection の管理者モード - [ネットワーク] - [ThinPrint 設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[.print client 設定]	本機で ThinPrint のプロトコルを使うかどうかを選びます。 本機を ThinPrint Client (.print Client) として動作させる場合は、[有効] を選びます。 初期値は [無効] です。
[ポート番号]	接続する ThinPrint Engine (.print Engine) のポート番号を入力します。 初期値は [4000] です。
[圧縮データサイズ]	ThinPrint Engine (.print Engine) 側でデータを圧縮するときの、パケットサイズの上限を、128 ~ 128000 の範囲で指定します (単位: バイト)。 ThinPrint Engine (.print Engine) は、このサイズごとにデータを圧縮してから、本機に印刷ジョブを送信します。 初期値は [8192] です。
[タイムアウト]	ThinPrint Engine (.print Engine) からの接続タイムアウトの値を、5 ~ 300 の範囲で入力します (単位: 秒)。 初期値は [90] です。
[プリンタークラス]	ThinPrint Engine (.print Engine) で使用する、本機のプリンタークラス名を入力します (7 文字以内)。
[プリンター名]	ThinPrint Engine (.print Engine) で使用する、本機のプリンター名を入力します (32 文字以内)。
[Connection Service 設定]	Connection Service を使うかどうかを選びます。 初期値は [無効] です。
[サーバーアドレス]	Connection Service を提供するサーバーのアドレスを入力します。 次のいずれかのフォーマットで入力します。 ・ ホスト名の入力例: 「host.example.com」 ・ IP アドレス (IPv4) の入力例: 「192.168.1.1」
[ポート番号]	Connection Service で使っているポートの番号を入力します。 初期値は [4001] です。
[AYT 周期]	Connection Service の動作を確認するために、再接続を行う周期を入力します (単位: 秒)。 初期値は [60] です。
[クライアント ID]	Connection Service で使う、本機のクライアント ID を入力します。 初期値は [1] です。
[認証キー]	Connection Service と接続するときを使う、認証キーを入力します。 初期値は [0] です。
[サーバー接続状態確認]	Connection Service との接続状態を表示します。 [更新] をクリックすると、最新の状態に更新します。

---

# 4 索引

## 4 索引

I

i-Option ..... 1-2

T

ThinPrint ..... 3-2

    概要 ..... 3-2

    設定 ..... 3-2

か行

拡張機能 ..... 1-2

機能コード ..... 2-2

た行

トークン番号 ..... 2-2

ら行

ライセンスキット ..... 1-2

ライセンスコード ..... 2-2

ライセンス登録 ..... 2-3

リクエストコード ..... 2-2



KONICA MINOLTA

国内総販売元  
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社  
製造元  
コニカミノルタ株式会社